

令和 8 年 4 月 23 日

**広島大学東広島キャンパスのシンボル「フェニックスタワー」
デザインをリニューアルし、4月20日に一般公開**

このたび、東広島キャンパス内に設置されている「フェニックスタワー」の外観デザインをリニューアルし、2026年4月末に公開します。

本リニューアルは、キャンパス環境の魅力向上と、大学の象徴的景観の刷新を目的とした取り組みです。

■ 背景・目的

東広島キャンパス内に位置する「フェニックスタワー」は、広島大学の東広島キャンパス整備に伴って設置されたエネルギーセンターの煙突で、キャンパス移転期の1990年代前半に建設されています。エネルギーセンターの煙突を再利用する形で2000年3月にフェニックスタワーとして再整備されました。

長年にわたりキャンパスのランドマークとして親しまれてきましたが、施設の老朽化や景観面での更新の必要性を踏まえ、以下の観点からデザインリニューアルを実施しました。

- ・ キャンパスの景観価値の向上
- ・ 学生・教職員・地域住民に親しまれる新たなシンボル創出
- ・ 「持続可能性」や「未来志向」を象徴するデザインの導入

■ リニューアルの特徴

- ・ 新デザインの採用
大学の理念や未来志向を表現した外観デザインに刷新
- ・ 視認性の向上
遠景からも印象的に認識できる配色・構成
- ・ 環境との調和
周辺の自然環境や建築群との一体感を重視

■ デザイン

- ・ ひとくわた とおる 一鍬田 徹教授

（大学院人間社会科学研究所/教育学部 造形芸術教育学領域 彫刻）

■ 公開について

- ・ 公開時期：2026年4月20日（月）
- ・ 一般見学：キャンパス内から自由に観覧可能

■ 高さ約 40m、直径約 5.1m

【お問い合わせ先】

財務・総務室 施設部

施設整備グループ 志和 充将

TEL:082-424-6112 FAX:082-424-6120

